

## 行政で運営する施設として考えられる学校跡地・施設の利活用アイデアの検討

第2階学校跡地・施設利活用検討委員会では、業者が提案してきた学校跡地・施設の利活用アイデアの中から、「ビオトープ観察拠点 (No.22)」、「自然体験活動 (No.23)」、「資料室 (荒川の自然等) (No.24)」に該当すると考えられるものを選択しました。

ここでは、今、地域住民は何を必要としているのか、資料4での検討結果も関連付けながら、他にどのような利活用アイデアがあったらよいかという観点から、検討をお願いします。

### ○ 行政が運営する施設として考えられる学校跡地・施設の利活用アイデアの整理・区分

スペース形態 利用者 ターゲット	専用スペースが必要になると考えられるもの	共用スペースでまかなえると考えられるもの
<p>基本的には 地域住民の利用 が考えられるもの</p>	<p><b>Aゾーン</b></p> <p>福祉 (定住・子育て)</p> <p>町営住宅 (No.4)</p> <p>教育 (スポーツ)</p> <p>スポーツジム (No.25) スポーツ施設 (No.27)</p> <p>※ 専用の設備等の設置が必要だと考えられる。</p>	<p><b>Bゾーン</b></p> <p>福祉 (健康・子育て)</p> <p>健康づくり・コミュニティの拠点 (No.2) 親子と子供の交流の場 (No.3)</p> <p>教育 (生涯学習)</p> <p>公民館 (No.19) 子どもの学習室 (No.21)</p> <p>自治・コミュニティ</p> <p>地域住民のサロン (No.30) 地域活動センター (No.32、33)</p> <p>※ 利用頻度にもよるが、利用時間が重ならなければ共用も可能と考えられる。 ※ 外国人労働者への日本語・文化教育の支援等は、このゾーンに含まれると考えられる。</p>
<p>地域住民だけでなく 町外者の利用 も考えられるもの</p>	<p><b>Cゾーン</b></p> <p>教育 (環境)</p> <p>ビオトープ観察拠点 (No.22) 自然体験活動 (No.23) 資料室 (荒川の自然等) (No.24)</p> <p>教育 (文化)</p> <p>文化財整理保管・展示場所 (No.28) 郷土歴史資料館 (No.29)</p> <p>教育 (防災)・自治</p> <p>防災教育施設 (No.34)</p> <p>※ 専用の展示物、設備等の設置が必要であると考えられる。</p>	<p><b>Dゾーン</b></p>